

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 28 日 (2021.10.28)

【公表番号】特表 2020-536713 (P2020-536713A)

【公表日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)

【年通号数】公開・登録公報 2020-051

【出願番号】特願 2020-540856 (P2020-540856)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/02 A

A 6 1 F 13/02 3 1 0 J

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 17 日 (2021.9.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医療用ドレッシング材であって、

第 1 主面と、前記第 1 主面の反対側の第 2 主面とを含むバックキング層であって、前記バックキング層がバックキング外辺部を含む、バックキング層と、

前記バックキング層の前記第 2 主面上の接着剤と、

前記接着剤に取り外し可能に取り付けられた剥離層と、

前記バックキング層に固定された支持材であって、前記支持材が、前記バックキング層よりも低弾性であり、前記支持材が、前記バックキング外辺部から内部方向に間隔があいている支持外辺部を備え、これにより、前記バックキング層が、前記支持外辺部と前記バックキング外辺部との間に辺縁を形成する、支持材と、

前記バックキング層の前記第 1 及び第 2 主面を通して形成されたチューブスロットであって、前記チューブスロットが、前記バックキング層の前記バックキング外辺部を分断する受容端から前記バックキング層内に位置する終端まで延び、前記チューブスロットが、前記チューブスロットの前記受容端から前記終端まで延びる一対の対向する縁部を備え、前記チューブスロットの前記一対の対向する縁部が前記支持材の前記支持外辺部を分断し、更に、前記一対の対向する縁部の各対向する縁部の少なくとも一部分が前記支持材のチューブスロット縁部と一致する、チューブスロットと、

を含む、医療用ドレッシング材。

【請求項 2】

前記支持材が、前記チューブスロットの前記対向する縁部の全てと一致する、請求項 1 に記載の医療用ドレッシング材。

【請求項 3】

前記チューブスロットが第 1 のチューブスロットを備え、更に、前記医療用ドレッシング材が第 2 のチューブスロットを備え、前記第 2 のチューブスロットが、前記バックキング層の前記第 1 及び第 2 主面を通して形成されており、前記第 2 のチューブスロットが、前記バックキング層の前記バックキング外辺部を分断する受容端から前記バックキング層内に配置された終端まで延び、前記第 2 のチューブスロットが、前記第 2 のチューブスロットの前記受容端から前記終端まで延びる一対の対向する縁部を備える、請求項 1 又は 2 に記載の

医療用ドレッシング材。

【請求項 4】

前記チューブスロットは、前記チューブスロット長さに対して横断して測定された最大チューブスロット幅が、前記チューブスロット長さの 5 % 以上である、請求項 3 に記載の医療用ドレッシング材。

【請求項 5】

前記バックینگ層が透明であり、
液体に対して概ね不透過性であり、 $37 / 100 \sim 10 \% \text{RH}$ において少なくとも $300 \text{ g} / \text{m}^2 / 24$ 時間の速度で水蒸気を透過できる、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の医療用ドレッシング材。

【請求項 6】

前記受容端と前記終端との間の距離が長さ A であり、前記バックینگ外辺部の第 1 部分は長さ B を有し、前記長さ B は前記長さ A の 2 倍以下である、請求項 5 に記載の医療用ドレッシング材。